

GLAFS コアセミナー (2014)

	内容	テーマ	講演者と肩書または研究指導	区分
4月26日	高齢社会総合研究機構が行う分野横断型実証プロジェクトについて講義。新しい高齢社会を創るには何が必要か、学生全員でGWを実施した。	高齢社会に関する研究の理解	GLAFS 教員	CS1
5月10日	高齢社会総合研究機構が行う分野横断型実証プロジェクトについて講義。GWを行い、GLAFS 生の研究関心とCSへの期待について討議した。	高齢社会に関する研究の理解と、GLAFS 生の期待	GLAFS 教員	CS1
5月17日	「い・しょく・じゅう」のグループに分かれ、GLAFS 生が分野横断で行う共同研究のアイデアを検討。	共同研究に向けた取り組み1	GLAFS 教員	CS1
5月24日	「い・しょく・じゅう」のグループに分かれ、GLAFS 生が分野横断で行う共同研究のプログラムを検討した。	共同研究に向けた取り組み2	GLAFS 教員	CS1
5月31日	「い・しょく・じゅう」のグループに分かれ、GLAFS 生が分野横断で行う共同研究の研究計画書を策定。WHOのAge Friendly Cityに関するテキストを輪講。	共同研究に向けた取り組み3 超高齢社会に関する輪講	GLAFS 教員	CS1
6月7日	「い・しょく・じゅう」のグループに分かれ、GLAFS 生が分野横断で行う共同研究について全体共有。6つの共同研究テーマを決めた。	共同研究に向けた取り組み4	GLAFS 教員	CS1
6月14日	アメリカのシニアコミュニティの入居契約書と日本のサービス付き高齢者住宅の標準約款について講義。これらの比較検討を通し、日米の制度文化の違いについてGWを実施した。	入居契約書、標準約款における日米の制度文化の違い	樋口範雄 (法学政治学 研究科教授) *	CS2
6月28日	社会保障政策の形成過程、社会保障政策や介護保険の国際比較等の講義に加え、産業界から講師をお招きして、博士課程卒業後のキャリアパスについて、お話を伺った。	社会保障政策の形成とその過程での審議会・研究家の役割	岩村正彦 (法学政治学 研究科教授) *	CS2
		How different countries allocate LTC benefits to users	J. C. Campbell (高齢社会総合研究機構客員 研究院) *	CS2
		博士人材のキャリアパス・グローバル人材とは	石岡祥男 (元日立製作所・産学ネットワーク「ジェロントロジー」特別会員)	CS2
7月5日	高齢者の住まい (近居) や家族に関しての講義と、地域診断やそれに関連する研究手法についての講義。その後、高齢者体験セットを装着し、高齢者の虚弱を体験・測定。講演者と共に支援方法について検討した。	地域居住に関して	大月敏雄 (建築学専攻教授) *	CS2
		地域診断について	永田智子 (健康科学・看護学専攻准教授) *	CS2
		高齢者体験	GLAFS 教員	
7月12日	在宅介護の現場から見た、高齢者とのかわり方や支援方法について、お話を伺った。	在宅介護支援の現場	大向一成 (㈱ジャパン ケアサービス)	CS2
	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1

7月19日	小規模多機能事業所について、実際の事例を紹介し、高齢者が地域で暮らし続けるために小規模多機能事業所が目指すものについて、お話を伺った。	地域密着サービスと介護保険制度	柴田範子 (NPO 法人「楽」理事長)	CS2
	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
8月23-24日 8月29-31日 9月5-7日	仮設住宅で、高齢者へのインタビュー、健康チェックを実施し、高齢者の居住環境について「い・しょく・じゅう (医・食・住)」の観点からアセスメントを行った。	岩手県大槌町、釜石市住環境点検	GLAFS 教員	CS1
10月18日	大田区の高齢者見守り、支えあいネットワーク等について、お話を伺った。	高齢者支援の現場について	澤登久雄 (大田区地域包括支援センター長)	CS2
	テレビ、新聞、雑誌の立場から、シニアへの情報の伝え方やコンテンツに関する話題を提供後、「高齢期の暮らしとコミュニティを豊かにするにはいかなる情報をいかなる手段で伝えればよいか」をパネルディスカッションした。	シニア×メディア 高齢社会における情報伝達とニーズ	河出卓郎 (株)毎日新聞社 * 岡田宏記 (株)フジテレビジョン報道局専任局長) 川村容子 (高齢社会総合研究機構)	CS2
11月1日	ドイツと日本の介護保険制度の成り立ちとそれぞれの違いについて講義。	ドイツと日本の介護保険制度の誕生	J. C. Campbell (高齢社会総合研究機構客員研究員) *	CS2
11月8日	工学系研究科建築計画研究室主催、GLAFS 共催の国際シンポジウムに参加。	超高齢社会に対応した地域空間計画の再考	建築計画研究室 GLAFS 教員	CS2
11月15日	川崎市の生活保護者、障がい者、貧困家庭の子ども等、その実態についてお話を伺った。	大都市の高齢者支援施策について	広岡真生 (川崎市健康福祉局生活保護自立支援室)	CS2
11月22日	法廷後見制度、任意後見制度についての説明認知症高齢者の事例など、成年後見制度の実情についてお話を伺った。	成年後見制度について	牛嶋勉 (牛嶋、寺前、和田法律事務所)	CS2
	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
11月29日	老人ホームや特養の現場の話を中心に、施設の問題点、サービス付き高齢者住宅の施設化在宅老人ホームについて、お話を伺った。	高齢者の住まいのあり方について	橋本俊明 (株)メッセージ会長)	CS2
	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1
12月6日	高齢者のニーズにあった旅のコーディネーションや、カラオケでの介護予防についてお話を伺った後、高齢者のアミューズメント・トレンドを考える GW を実施した。	超高齢社会を豊かにする旅のコーディネーションと魅力ある地域	北 功 (東日本旅客鉄道株)	CS2
		アクティブシニアから要介護者までを対象としたエンターテインメント&レクリエーションプログラム	戸塚圭介 (株)第一興商)	CS2
12月13日	企業の立場から超高齢社会の課題に対する取り組みを紹介。	超高齢社会の課題に対するダイワハウスグループの取り組み	濱 隆 (ダイワハウス工業 (株)取締役常務執行役員) *	CS2
		超高齢社会の到来とビジネスモデルの考察	野呂順一 (株)ニッセイ基礎研究所代表取締役社長) *	CS2

1月17日	フィールド演習2・ケアシステム実習にあたって、在宅医療・訪問看護・ケアマネジメント・福祉施設の実態を理解するためのオリエンテーション。	在宅医療・訪問看護・施設実習のオリエンテーション	木全真理 (GLAFS 特任助教) * 御子柴直子 (GLAFS 特任助教) *	CS2
1月24日	新宿戸山団地「暮らしの保健室」の見学を通して、地域で支える訪問看護を現場学習。	地域を支える訪問看護	秋山正子 (㈱ケアーズ 白十字訪問看護ステーション統括所長) *	CS2
2月14日	学生による研究の進捗の発表と教員からのフィードバック。	個別研究指導	GLAFS 教員	CS1

*はプログラム担当者